

1. 今回の募集の変更点（追加情報）について

■ 半年後出発プログラムの募集有無について

海外留学秋募集における対象プログラムは、通常半年後の春に出発する1 year/1 semester のプログラムおよび一年後の秋に出発する1 year 以上のプログラムになりますが、新型コロナウイルスの影響を受け、今年度の秋募集について、半年後出発プログラムは募集致しません。2021年秋出発となる留学プログラムのみ募集対象となりますので、予めご了承ください。

■ 出願書類の提出について（郵送での提出）

出願必要書類提出は、WEB 出願登録期間と同じく **10月27日（火）～11月4日（水）** です。出願必要書類を期日までに指定された郵送先に郵送してください。

郵送先：〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-7-14 22号館 1階 Waseda Global Gate
早稲田大学 留学センター 派遣選考担当者 行

期日必着とし、期日を過ぎての提出（到着）はいかなる理由でも認められませんので早めに準備、郵送してください。詳細については募集要項をご確認ください。**大変重要な書類ですので郵便書留や宅配便等、配達記録の照会が可能な方法での郵送をお勧めいたします。**なお、書類の紛失等に関し留学センターでは責任を負いかねますので予めご了承ください。また、提出書類の受領有無に関する問い合わせには、お答えできかねますので、上記方法での郵送をご利用ください。

■ 語学スコアおよび英文成績証明書について

例年語学スコアおよび英文成績証明書については原本での提出を求めていましたが、今回留学センターへの出願時についてはコピーでも受付可となりました。例年通り原本での提出でも構いません。（語学スコアの詳細については「2. 英語プログラム出願予定者への重要なお知らせ」を参照してください）英文成績証明書のコピーについては、WEB 成績照会画面のプリントアウトではなく、学部で発行している公式の英文成績証明書のコピーのみ受け付けます。また、出願先大学によっては英文成績証明書の原本が必要な場合もありますので、改めて提出を求める場合があります。

以前の海外留学募集に出願した方で、前回選考時に提出した語学スコアを使用する場合は、有効期限内のものであれば使用を認めます。スコアのかわりにその旨一筆を書いた紙面を書類提出時に同封してください。

また、2020年秋出発派遣候補者（辞退者含）および2021年春出発派遣候補者（辞退者含）が2020年海外留学秋募集に再度出願する場合、有効期限外のスコア（原本、または、コピー）で出願することが可能です。（以前の海外留学募集に出願した方で、前回選考時に提出した語学スコアを使用する場合の対応は上記と同様です）

学内選考後、留学先大学に出願する際、留学先大学の要求レベルを超えたスコアカード/公的証明書の原本を提出する必要があります。（北米の一部プログラム等、学内選考後すぐに提出が必要なプログラムもありますので、いずれにせよ早めの準備をお勧めします）次回以降の海外留学募集でも同様の扱いを適用するかは未定ですのでご注意ください。（あくまで特例的な措置になります）

■ 志望プログラム数について

これまで最大第7志望まで選択可能でしたが、今回第10志望まで選択が可能になりました。これは、新型コロナウイルスの影響で出願者数やプログラムラインナップに大きな影響がある可能性もあり、出願者の皆さんの決定

率を上げるための措置です。ただし、必ずしも第10志望まで選択する必要はなく、選択し決定した場合には原則辞退はできませんのでよく考えて選択するようにしてください。

■ エッセイテスト形式の変更について

例年、一部プログラムを対象に実施しておりましたエッセイテストですが、新型コロナウイルスの影響で皆さんの健康面、安全面を優先・考慮し、教場での試験実施ではなく、出願書類として小論文を提出する形式に変更します。

以下対象プログラムへの出願を希望される方は出願書類として小論文も必ず提出してください。

(出願書類については以下募集情報をご確認ください)

<https://www.waseda.jp/inst/cie/from-waseda/abroad/1year>

【対象プログラム】

■ 英語 Double Degree Program :

National University of Singapore

Earlham College

Shanghai Jiao Tong University

Chinese University of Hong Kong

Chulalongkorn University

■ Advanced Scholars' Program :

Yale University CS-R

Oxford St Peter' s College Program CS-R

Oxford Hertford College CS-R

University of Pennsylvania CS-R

提出された小論文のほか、面接、学業成績（GPA）、語学スコア、学習研究計画書、学部・研究科での留学適性判断等をもとに総合的に判断したうえで候補者を選出いたします。小論文提出後、合格者のみ面接試験を受験していただきます。対象者には別途通知します。(出願期間中に小論文をもとに対象プログラムの可否結果発表は行いませんのでご注意ください)

■ 面接試験について

例年、DDプログラム、Advanced Scholars' Program、非英語 EX-R プログラム、特定プログラム応募者を対象に実施しておりました面接試験ですが、新型コロナウイルスの影響で皆さんの健康面、安全面を優先・考慮し、対面からオンライン（Zoom）での実施に変更します。

実施は11月21日（土）または28日（土）を予定しておりますが、出願者の状況により実施日を決定いたしますので、出願を希望する方は両日の予定を空けておくことをお勧めします。

対象者には出願期間後、MyWaseda 経由または Waseda メール宛に実施日時について通知します。（個別の事情は考慮できず、原則日時の変更はできませんのでご了承ください）

なお、出願者の状況によっては11月23日（月）の週の平日で調整をさせて頂く場合があります。（対象者には別途ご連絡いたします）

面接については、**カメラ、マイクが利用できるパソコンを事前に準備、安定したネットワーク環境で受験する必要があります。**

■ 2021年春出願 2021年秋出発の EX-R/EX-L(1S)プログラムについて

例年実施しております、春出願、半年後の秋出発となる EX-R/EX-L(1S)プログラムの募集については、今年度(実施の場合は2021年春募集)は実施しないこととなりましたのでご注意ください。

■ Program List 上の掲載情報について

Program List 上の項目 Q12-C (英語スコア要件)、Q15-1 (推奨取得単位数)、Q15-2 (学年歴)、Q16-3 (英語コースリスト)、Q18 (宿泊種類)、Q19-1、Q19-2、Q19-3、Q20、Q21-2 (留学にかかる学費以外の費用関連)、Q22 (その他情報) については、協定校からの情報原文を掲載しております。最新の情報については、各協定校の HP にてよくご確認ください。

2. 英語プログラム出願予定者への重要なお知らせ

■ 語学スコアのコピーでの受付可否について

語学能力試験結果 (例: TOEFL iBT/IELTS など) については、学内選考時には WEB 画面で確認できるスコア表のプリントアウト等でも受け付けております。ただしその場合、スコアや名前が切れないように、できる限り、原本コピー、または、ウェブ画面からプリントアウト可能な顔写真入りのスコアカードを提出するようにしてください。(本人確認ができないコピー・ウェブ画面のプリントアウトの提出の場合、再提出を求める場合があります)

■ TOEFL iBT (Examinee Score Report)、ITP/IELTS (Test Report Form) など出願先大学が定める要求スコアを超えた TOEFL のスコアカードや IELTS の Test Report Form を提出してください。プログラムによっては、Section Score (Reading, Listening, Speaking, Writing) 別の要求スコアが設けられている場合もあります。

■ プログラムリストに記載の、出願先大学が定める要求スコアを1点でも満たしていないと、そのプログラムについては本学での選考対象外となりますので、絶対に出願プログラムとして選択しないでください。

■ 出願の際、TOEFL/IELTS のスコアは 2018年12月8日以降に受験したものを提出してください。TOEFL/IELTS の有効期限は2年間であり、学内選考後留学先大学への出願の際、およびビザ申請などに必要となる書類が協定校から発行される前に有効期限が切れる場合は、再受験が必要な場合もありますので注意してください。再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、留学先大学からの受入許可が出ない可能性もあります。その場合、別の大学への出願はできません。

■ スコアカード (コピー含む) は原則として返却しません。

■ WEB 出願の際に入力した公的試験の証明書の提出が無い場合は、入力したスコアが無効となります。

■ IELTS Indicator, TOEFL iBT ® Special Home Edition スコアの取り扱いについて

学内選考において、IELTS Indicator, TOEFL iBT ® Special Home Edition スコアでの出願は認めます。ただし

学内選考後、留学先大学に出願する際に、留学先大学の判断により要求レベルを超えた通常の IELTS/TOEFL 試験のスコアカードの提出が求められる可能性がありますので、ご注意ください。再受験結果が学内選考出願時の点数を下回ってしまった場合は、留学先大学からの受入許可が出ない可能性もあります。その場合、別の大学への出願はできません。

3. グループごとに出願するプログラムについて

以下プログラムについては出願時にはグループ単位での出願となり、学内選考後に留学先が決定します。

また、例年” California State University System” と” University of California System” の対象校を誤って理解し出願する方が散見されます。プログラムリストを十分に確認のうえ選択するようにしてください。

【Global Leadership Fellows Program (EX-R)】

出願手続き等詳細は、募集要項を必ずご確認ください。

【California State University System (EX-R)】

California State University System (EX-R) を志望する場合、CSU (連盟) に出願をし、学内選考後、CSU のオリエンテーションに出席、CSU 担当者との面談を経て、22 キャンパスの中から第1希望から第4希望までを選んで申請し、CSU 担当者の選考により出願するキャンパスを決定します。(必ずしも第1希望のキャンパスに派遣されるとは限りません。) キャンパスの申請条件などについては、オリエンテーション時に案内があります。

【University of California System (EX-R)】

University of California System (EX-R) を志望する場合、UCSystem (連盟) へ出願をし、実際の留学先キャンパスに関しては、学内選考後、現地への出願時に3つのキャンパスを選んで出願し、現地側が Pre-requisite などを確認、審査の上、決定します。

【GLCA/ACM (CS-R)】

GLCA/ACM (CS-R) を志望する場合、TIER (=グループ) ごとへの出願となり、実際の留学先大学に関しては、学内選考、またその後の GLCA/ACM 事務所での選考により決定となります。出願には、英語要件を満たす TOEFL/IELTS スコアが必要です。また、自分が取得しているスコアの範囲以外の TIER を選択することも可能です。例えば、TOEFL iBT100 を取得している場合、A、B、C どの TIER へのお願も可能。要件を満たしていれば2つまたは3つの TIER を併願することも可能です。

以上